

令和 8 年度 「応募型研修助成」 について

	R 8 応募規定
Ⅰ 短期視察研修補助事業	<p>①教職員個人や学校現場が抱える課題の解決のため</p> <p>②県内外の教育機関で 5 日以内</p> <p>③後補充等の紹介及び謝礼補助</p> <p>④郡市教育会の補助を受けている場合は対象外</p> <p>・補助金 ①本人 1 日 15,000 円 以後 1 日につき 5,000 円増額</p> <p>②学校 後補充謝礼等 1 日 5,000 円</p> <p>⑤補助対象の決定は、信濃教育会会長が行う。</p> <p>⑥研修期間は、5 日以内とする。移動日は含めない。</p> <p>⑦研修先は、主に県外の学校及び教育機関を原則とする。(事情により県内も可)</p> <p>⑧研修先は、1 箇所を原則とし、日々の実践を視察研修するもの。</p> <p>⑨補助は 2 年に 1 度とする。</p> <p>⑩Ⅰ及びⅢの助成を同一年に重複して受けることはできない</p> <p>⑪応募は予算上限に達した時点でホームページで知らせ、受付を終了する。</p>
Ⅱ 自主的校内研修補助事業	<p>①会員の職能向上のため学校独自に行う校内研修</p> <p>②補助金 1 校 10,000 円 + 20,000 円 × 会員率</p> <p>※会員率 (会員数 / 県費教職員数) 県費教職員数は非常勤講師を除く</p> <p>※会員数は市町村費・非常勤等含めた全て</p> <p>③補助金は講師謝礼、資料作成等、研修に必要なもの</p> <p>④講師謝礼の対象は、外部有識者又は教員 O B (校内教職員は対象外)</p> <p>⑤特別支援学校は部単位でも可能とする</p> <p>⑥補助対象校の決定は信濃教育会会長が行う</p> <p>⑦応募は 6 月末日までとする。ただし、予算上限に達した場合は受付を終了する。</p>
Ⅲ 学び続ける教師への助成事業	<p>①会員の学術分野における研究調査活動並びに専門的な知識・技能の習得(スキルアップ)に対して助成を行う。</p> <p>②助成の決定は「助成申込書」をもとに信濃教育会会長が判断する。</p> <p>③助成額 1 人上限 5 万円</p> <p>④助成は 2 年に 1 度とする。</p> <p>⑤Ⅰ及びⅢの助成を同一年に重複して受けることはできない。</p> <p>⑥他の団体等から助成を受けている場合は、その旨を申込書に記述する。</p> <p>⑦応募は予算上限に達した時点でホームページにて周知し、受付を終了する。</p> <p>【助成の例】</p> <p>○個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学び等に関する研究</p> <p>○自然科学及び人文科学に関する研究調査</p> <p>○特別支援教育に関わるスキルアップ等</p>

◇申込み手続き等について

- 信濃教育会ホームページ「研修補助金」メニューから入り、各事業説明ページの下欄にある「申請等書類」から申込書をダウンロードし、必要事項を記入後(校長記入欄有)、メールにて下記信濃教育会事務局宛に送付する。なお、補助金振込先はⅠ～Ⅲともに「学校代表口座(校長・教頭・学校名等が口座名義人)」とする。 信濃教育会事務局 E-mail: josei@shinkyo.or.jp
 - 信濃教育会は、申込書をもとに補助決定後、決定通知を学校長宛にメール送付し補助金を振り込む。なお、Ⅰ及びⅢの補助金については学校長から助成を受ける職員に渡す。
 - 研修終了後は、速やかに「報告書」を事務局宛送付する(最終提出期限は 2 月末日)。
- ※詳細は信濃教育会ホームページでご確認ください。